第 58 回全国保育団体合同研究集会（in 兵庫）　集会宣言

2026 年 8 月 22 日～24 日の３日間、神戸ワールド記念ホールをメイン会場に、第 58 回全国保育団体合同研究集会を開催しました。

本集会は、「すべての子どもたちに生きるよろこびを　つながろう　平和の種をまくために」の集会テーマが貫かれた集会でした。

8 月 22 日の全体会は、兵庫実行委員会の子どもたちによる「とどけ！平和のうたごえ」で始まりました。「子どもの思い　おとなの願い　感じる、つながる、響き合う」と題した保育・子育てフォーラムでは、保育・子育てを取り巻く現状と課題、子どものために模索しつづける実践が研究者・実践者により報告されました。一人ひとりの思いを大切にして聞き合うことが、「私は一人じゃない」と安心を生み、さらにつながりを生むことが語られました。

開催地企画の朗読劇「守ろう！非核『神戸方式』 広げよう！全国へ 世界へ」では、朗読と合唱を通して、1995 年の阪神・淡路大震災の経験と並んで、平和の根底にある非核「神戸方式」の闘いの歴史と重要性をみんなで知り確認することができました。

8 月 23 日は、保育・子育て講座、開催地企画・シンポジウム合わせて 16 の企画と 43 の会場分科会が行われました。分科会では、提案をもとにじっくり語り合い、考え合うことができました。後日行われた 14 のオンライン分科会も含め、分科会には多くの都道府県団体が運営に携わり、参加者とともに「みんなでつくる合研」を体現するものとなりました。

8 月 24 日は、文化企画の学生によるジャズ演奏と、記念講演が行われました。映画監督・ジャーナリストの三上智恵さんの記念講演「私たちに戦争を止める力はあるのか」では、沖縄で起こっていることは沖縄だけの問題ではないこと、一人ひとりに「戦争を止める力」が問われていることを強く感じました。

本集会の参加者は 9435 人で、会場には、4609 人の仲間が集いました。兵庫実行委員会を中心に、粘り強く参加を呼びかけ、広げてきたことの結実といえます。9 月 10 日～10 月 12 日までは全体会と８講座・シンポジウムの録画配信も行いました。会場や LIVE 配信での参加者が地域に帰り、「合研よかったよ、一緒に見よう！」と声をかけ、19 都道府県でさらに参加者が広がりました。

参加を通して、「今まで思っていたことを見直す機会になりました」「子どもと一緒に考えていくことの大切さを再認識しました」などの感想が多く寄せられました。他園の実践や他者の話を聴きあい、話しあうなかで、また、社会で起きていることを我がこととして考えるなかで、視野や関心が広がる経験の喜び、原点に返ってもう一度保育・子育てを見直すことの大切さを実感する集会であったと言えます。

全国の保育者、保護者、研究者等が集い、58 回の歴史を重ねてきた合研ですが、それぞれが対等な立場で保育・子育てについて語り合える場の必要性・重要性はますます大きくなっています。第 59 回集会は、第 50 回集会から 9 年ぶりに大阪で行われます。第 58 回集会で感じた熱い思い、学び合ったことを各地・各園に広げ、ぜひ、仲間を誘って第 59 回の集会に参加しましょう。大阪での再会を楽しみにしています。

2026 年 10 月 18 日

第 58 回全国保育団体合同研究集会